

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	文化人権推進課担当課長 青木 達哉	
経企-21 国際交流推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化人権推進課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	多文化共生社会	施策の方針
			多文化共生社会の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民の国際交流・国際協力活動への支援を行うとともに、多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを進めるため。
効果	行政レベル、市民レベルともに、国際理解や多文化共生社会への理解を進展させ、地域の国際化を進めることにより、世界に開かれたまちづくりを図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 国際交流や国際協力をテーマとした講座を開催した。 親善友好バッジなどの交付や情報提供により、市民レベルで行われる国際交流・国際協力事業を支援した。 将来の国際交流・協力活動の拠点づくりを目指し、国際交流フェスティバルを開催した。市と市民団体が連携し、市と団体及び団体間でのネットワーク化や情報の共有化を図った。 外国籍市民からの要望を受け、市民通訳ボランティアを派遣した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	17,689人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	280	323	当初予算(千円)	329			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	280	323	一般財源	329			
	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5			
事業経費運営	人件費(千円)	3,791	3,798	人件費(千円)	3,883			
	総事業費(千円)	4,071	4,121	総事業費(千円)	4,212			
	市民1人当りの経費(円)	23	23	市民1人当りの経費(円)	238			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 国際交流・協力団体連絡会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直し類の <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直し類の 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 現在の事業内容・予算規模は適正であると考えことから、現状の枠組みを維持していく中で、より効果的な手法を検討していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	国際交流・協力団体相互のネットワークの強化が図られるよう、連絡会の開催及び情報誌の発行などを継続的に実施していく。併せて、市民が国際交流・協力について考え、行動するきっかけとなるよう国際交流講座等を引き続き開催していく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	多文化共生社会への理解の推進するため、市内を中心に活動する国際交流・国際協力団体相互の連携を強化するとともに、国際交流フェスティバルの充実を図る。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	国際交流・国際協力連絡会を開催して連携を図った。また、国際交流フェスティバルを実行委員会と協働で実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	市民通訳ボランティアに対するニーズが徐々に高まっており、それに対応するための体制の整備が必要になる。また、災害時における日本語が話せない、読めない外国籍市民への対応を検討しなければならない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	国際交流フェスティバルの規模(参加団体数)					単位	団体	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
当該事業の最大のイベントであり、イベントの規模を測る指標であるため。	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0			
	実績値	16.0								
	達成率	80.0%	0.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---